ホンジュラスにおける企業向け「クリティカルパス（重要工程）」

1）クリティカルパスとは

正式な事業開始や操業が遅れる原因となる、重要な一連の手続き。
これらは次の手続きを可能にするための **基盤となる登録・許認可**。

2）1 行で示すルート（全体像）

事業性検討 → 立地/土地（外国資本がある場合は第 107 条） → 商業登記＋RTN/SAR → 市町村許可 → ARSA/SENASA（業種別） → 環境（SLAS/MIAMBIENTE／該当時） → IHSS＋移民局/STSS（該当時） → 輸出（DUCA＋証明書／該当時）

3）主要ステップ（内容と何が“ボトルネック”になるか）

■ 事業性（Viabilidad）

- 業態／モデルの定義
  - 農業かアグロインダストリーか
  - 輸出の有無
  - 食品・飲料、水、冷蔵、農薬の扱いなど
- 結果：必要となる技術・規制範囲（取得すべき許可の明確化）

■ 立地・土地（Ubicación y tierra）

- 外国資本がある場合は **第 107 条（Art. 107）** 適用の確認
- 土地使用（賃借／所有）
- **ボトルネック：制限地域の場合 → 事業構造の再設計または移転が必要**

■ 法務・税務の正式化（Formalización legal–fiscal）

- 公証書（Escritura pública）
- 商業登記（Registro Mercantil）

- RTN（税務番号）取得、SAR 登録（必要に応じ CAI）
- **ボトルネック：各種許認可、市町村、銀行手続き、契約、請求業務が進まない**

■ 市町村（Municipal）

- Solvencias（証明）、Constancias（各種証明書）
- 用途地域（該当時）
- **市町村営業許可（Permiso de operación municipal）**
- **ボトルネック：正式開業および多くの検査やライセンス取得の遅延**

■ 業種別（Sectoriales）

- **アグロインダストリー**：ARSA（衛生ライセンス）
  → 工場操業・正式販売をブロック
- **農業**：SENASA/SAG（各種登録・管理）
  → 輸出がブロック。作物によっては操業・登録も不可
- **注意点**：工場レイアウトが水・廃棄物・BPM/POES/HACCP 要件と合わないと再提出が発生

■ 環境（Ambiental／該当時）

- SLAS/MIAMBIENTE：環境カテゴリー分類＋環境ライセンス
- **ボトルネック：重要インフラ、工業操業、水の使用・排水、設備拡張が停止**

■ 操業・ステータス（該当時）

- IHSS（社会保険）：従業員がいる場合
- 移民局（INM/SGJD）：外国人経営者が居住する場合
- 労働省（STSS）：外国人が従業員または契約者となる場合

■ 輸出（該当時）

- DUCA／電子システム
- CENTREX（場合による）
- SENASA の植物・動物衛生証明
- 原産地証明（必要時）
- **ボトルネック：輸出そのもの、および輸入国要件の遵守ができない**

4）企業タイプ別の代表的な 2 つのルート

ケース A — 加工施設のない農園

立地／土地 → 商業登記 → RTN/SAR → 市町村許可 →（該当時）環境 →（該当時）SENASA → IHSS＋移民局/STSS（該当時）

ケース B — 工場を持つアグロインダストリー（＋輸出）

立地／土地 → 工場設計＋環境（SLAS） → 商業登記/RTN → 市町村 → ARSA＋SENASA → 輸出（DUCA＋証明） → IHSS＋移民局/STSS（該当時）

5）よくあるリスク（遅延の要因）

- **環境**：SLAS／環境ライセンスの開始が遅れることが最大のボトルネック
- **アグロインダストリー**：ARSA 要件＋インフラ（レイアウト、水、廃棄物）で再提出
- **輸出**：SENASA のトレーサビリティや証明書の準備不足
- **市町村**：自治体ごとに要件が異なり、確認不足で差し戻される

ホンジュラスでのアグリビジネス企業開設（外国投資家向け：簡易版）

基本判断（最もプロセスを早めるポイント）

推奨する企業構造

- 株式会社（S.A.）または有限責任会社（S. de R.L.）
- 現地の法定代理人（手続き・銀行にほぼ必須）
- 税務住所の設定＋会計の早期整備

外国投資家の最大のボトルネック：
銀行（KYC）、および業種別許可（衛生／農業／市町村）

2 つの実務シナリオ

シナリオ A —「商社／トレーディング」（購入→輸出）

含まれるもの

会社設立、商業登記、RTN、市町村基礎許可、銀行口座、IHSS（給与がある場合）

期間

4〜8 週間（銀行・市町村がスムーズなら短縮可）

費用

US$1,500〜4,500（法務／登記／基本手続、賃貸等は除く）

手順（簡略）

- 公証書作成（notaría）
- 商業登記（費用は資本金による）
- RTN（初回無料）
- 市町村営業許可（自治体により要求書類が異なる）
- 銀行口座（KYC が最大の不確定要素）

シナリオ B —「アグロインダストリー」（工場・包装・食品・規制輸出）

含まれるもの

上記＋

- SENASA 登録・管理
- ARSA による衛生・製品登録
- 工場適合のための設備投資

期間

3〜6 ヶ月
（新工場や環境が複雑な場合 **9〜12 ヶ月**）

費用

US$15,000〜120,000+
（工場規模、認証、冷蔵設備、ラボ等による）

よくある規制層

- SENASA：農畜産品の加工・輸入・輸出施設の登録／管理
- ARSA：食品・飲料の衛生登録（ラベル、配合、試験など）

コスト／期間の参考

ブロック	達成内容	時間	費用（USD）
会社設立＋公証書	法的に企業設立	1–2 週	600–2,000
商業登記	正式登録	1–2 週	200–1,200+
RTN	税務登録	1–3 日	0
市町村許可	事業開始許可	1–4 週	150–1,500
銀行（KYC）	国際取引可能	2–6 週	0–500
SENASA/ARSA	業種別操業許可	4–16 週	1,000–15,000+

概要

- トレーディング：**4–8 週間 / US$1.5k–4.5k**
- アグロインダストリー：**3–6 ヶ月 / US$15k–120k+**

外国投資家向けの実務的アドバイス

- 最初に **事業モデル** を確定
  - トレーディングか
  - プラント／包装か
  - 加工食品か
- **銀行（KYC）を第 1 週から開始**
- **フェーズ分割アプローチ**が効果的

フェーズ 1（迅速）

企業設立＋RTN＋市町村＋銀行
→ ローカル B2B 取引と輸出準備が可能

フェーズ 2（規制）

SENASA／ARSA＋契約＋トレーサビリティ＋認証